

講演会

## 医療の災害対策 2013

— 大災害に対する医療機関インフラのあり方 —

### 事前配布資料

期 間: 2013年3月10日(日)

会 場:

東京大学伊藤国際学術研究センター・謝恩ホール  
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1



主 催:

国際医療リスクマネジメント学会  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102  
(電子メール)head.office01@iarmm.org  
(Tel/Fax) 03-3817-6770

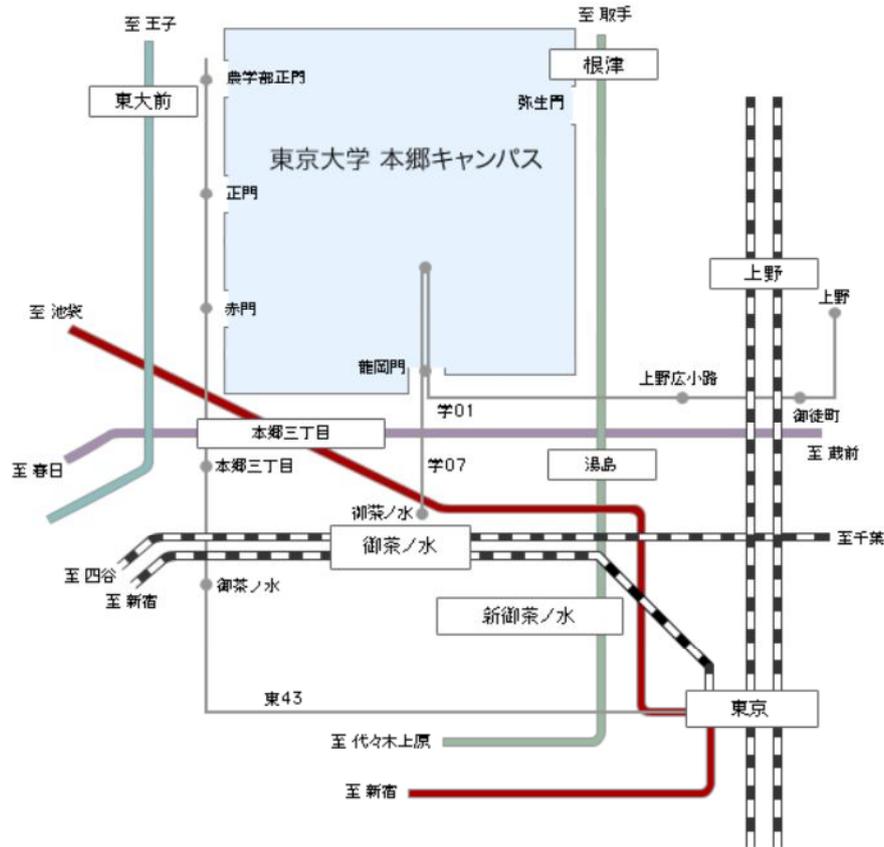
(参加者への注意)

- 1) 会場受付の開始時間  
2013年3月10(日) 8時
- 2) テキストおよび領収書は2013年3月10日朝の会場受付でお取りください。
- 3) 受講修了証は3月10日午後5 時以降に受付でお渡しします。
- 4) 多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者の迷惑になりますので遠慮ください。

(対象者) 学会員、医療施設経営者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他の医療従事者。

本プログラムは、病院の安全対策として診療報酬を申請することができる「医療安全管理者・専従リスクマネージャーを対象とする安全教育プログラム」ではありません。

## 交通案内



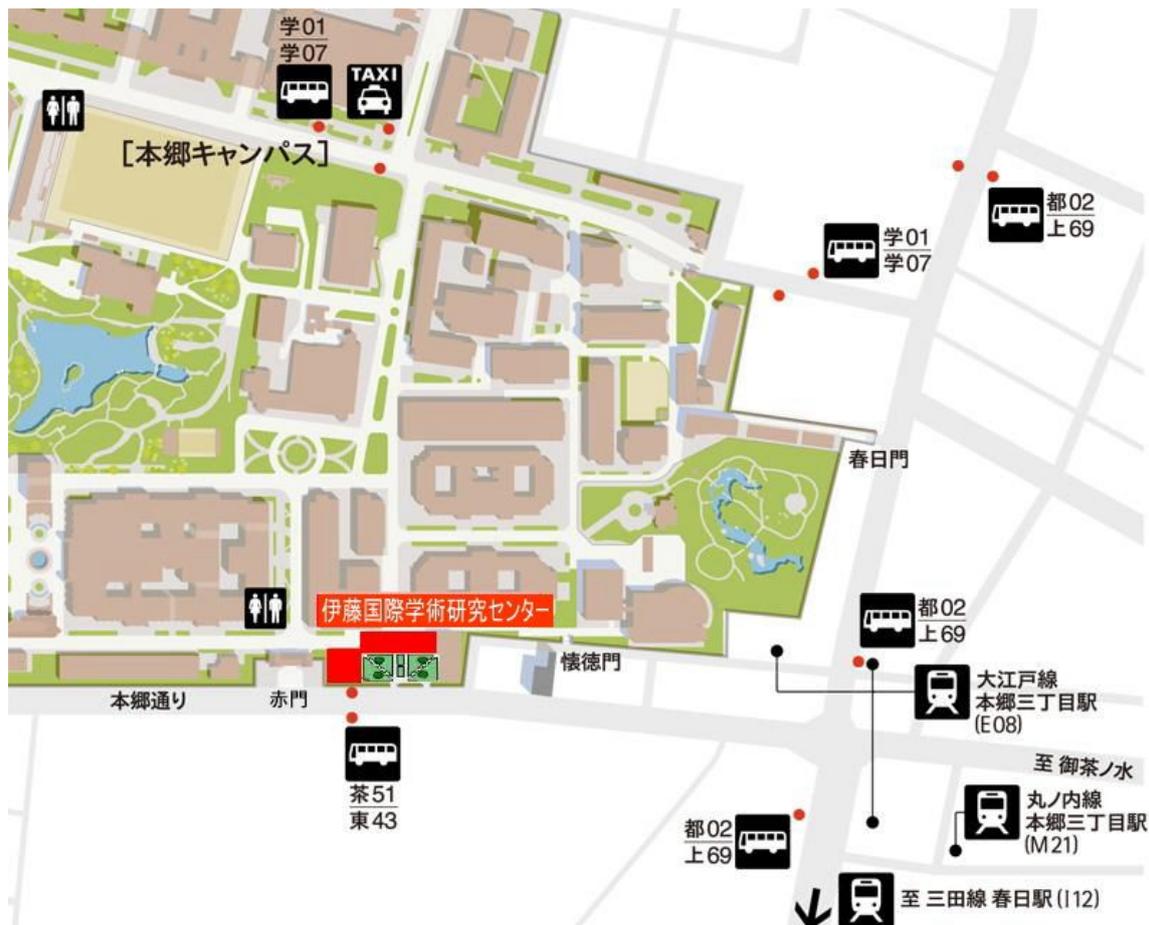
最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10分

御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行   東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

## 会場案内

TEL 03-5841-0779(※平日午前9時～午後5時半)

東京大学伊藤国際学術研究センター・謝恩ホール



## 飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

当日は、学内のすべての飲食店・生協などが開店しています。

飲食には下記をお勧めします。

東大安田講堂地下食堂

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

# プログラム

2013年3月10(日)午前9時～午後5時

東京大学伊藤国際学術研究センター・謝恩ホール

受付開始 午前8時  
午前9時 開会

午前9時～午前9時50分 **教育講演会(1) 医療における減災**  
目黒 公郎 東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長・教授  
IARMM 国際理事、内閣府中央防災会議専門委員

(概要) 目黒先生は人を中心とする減災システムのあり方に関して重要な諸課題を推進され、日本政府の多種類の災害対策活動に参加しています。

午前9時50分～午前10時 休憩

午前10時～午前10時50分 **教育講演会(2) 東京大学の防災対策の基本方針**  
田中 淳 東京大学安全管理委員会、同大総合防災情報研究センター長・教授  
内閣府中央防災会議防災対策推進検討会議委員

(概要) 近年東京大学では災害に対する危機管理本部を立ち上げ、防災基本方針を策定しました。本講演では、東京大学における様々な分野からの多数の専門家の英知を集めた最新報告をその責任者からご紹介いただけます。

午前10時50分～午前11時 休憩

午前11時～午前12時  
(座長) 酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会 IARMM 理事長)

**基調講演 東日本大震災における医療の現状と今後**  
小川 彰 岩手医科大学 理事長・学長、全国医学部長病院長会議 元会長

(概要) 小川先生は岩手県の医療機関の中核として、県内外の東日本大震災での医療を統括しています。それらの体験を踏まえて、地域医療の長のお立場から災害医療の現状と課題を紹介いただけます。

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後2時50分 **シンポジウム「広域大規模災害・原発事故による情報遮断時の医療対応の経験と今後の医療情報網構築への提言」**

(座長) 橋本 重厚 (福島県立医科大学臨床教授、IARMM 国際評議員)

午後1時～午後1時5分 橋本 重厚 福島県立医科大学附属病院医療安全臨床教授

午後1時5分～午後1時35分 重富 秀一 JA 福島厚生連双葉厚生病院病院長

(概要) 双葉厚生病院は福島第一原発から4キロに位置します。

その責任者から、原子炉事故以降に経験した甚大な危機管理の問題をご報告いただけます。

午後1時35分～午後2時5分 中山昌明 福島県立医科大学附属病院腎高血圧・糖尿病内分泌代謝内科教授

午後2時5分～午後2時35分 橋本 重厚 福島県立医科大学附属病院医療安全臨床教授

午後2時35分～午後2時50分 総合討論

午後2時50分～午後3時 休憩

午後3時～午後3時50分 **教育講演会(3) 大災害時の通信**

坂村 健 東京大学大学院情報学環ユビキタス情報基盤研究開発センター長、教授

(概要) 坂村先生はユビキタスの提唱者のお立場から、東日本大震災後に、災害時の情報通信システムに関する国家プロジェクトを開始しています。

それを踏まえて、災害と通信システムに関する最先端科学・技術を講義いただけます。

午後3時50分～午後4時 休憩

午後4時～午後4時50分 **教育講演会(4) 災害時に対する医療における事業継続計画の策定方法**

島崎 修次 日本救急医療財団理事長、杏林大学名誉教授、IARMM 国際顧問

(概要) 事業継続計画は災害における企業体のインフラ整備を総合評価し、より適切なリスク対策を構築する手法として欧米・日本で展開されています。

事業継続計画は災害における医療機関の適切なインフラ構築にも資します。

午後5時 全体閉会